

## 臨床データ利用についてのお願い

当院では下記の研究を行っております。

### 課題名：

交通外傷後 3 年間踵非接地の症例が骨延長術を施行し、歩行獲得に向けて行ったイリザロフ施行中に行った取り組み

### <目的及び概要>

交通外傷後下腿骨折変形治癒に対して骨延長術を施行した症例を担当した。約 3 年間踵非接地下で生活されており、骨延長術後イリザロフ施行中に認知神経リハの介入による踵接地の情報構築に向けた取り組みを報告する。

### <研究方法>

60 歳代男性。3 年前の交通外傷により右脛腓骨開放骨折、骨盤骨折を受傷し、骨盤と下肢に対し、複数回骨接合術等を施行した症例への介入。

立位で前足部と踵の圧の差異を基に重心移動の方向性の足底の接触課題を行い、歩行の改善について検討する。

### <研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

### <研究者>

リハビリテーション科：山形 繁広

### <問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事課  
電話：0798-34-5151（代表）